

New Books

医学書院刊

『ティアニー先生のベスト・パール 2』

ローレンス・ティアニー(著)・松村正巳(訳)

亀田総合病院 総合診療・感染症科 八重樫牧人

ティアニー先生は「診断の神様」といわれ、NIH（米国国立衛生研究所）が毎年1名だけ選出するGreat Teacherにも選ばれたことがある全米を代表する総合内科医である。症例カンファレンスでの卓越した診断能力・教育能力、そして愛すべき人柄にファンが多く、毎年日本全国から講演依頼が殺到している。それだけでなく、先生の影響で臨床診断学や総合内科に興味をもち、キャリアまでも変えた医師も数多い。数多くの症例カンファレンスで、ほんの一握りの追加情報が加えられただけで、診断に卓越した医師ならどう考えるかを研修医にもわかりやすくホワイトボードに書きながら語りかけてくれる。その診断能力が素晴らしいのはいうまでもないが、臨床医学の「愉しさ」が伝わってくるのもティアニー先生のカンファレンスの特徴である。

診断能力等の技能を極めるためにはその分野が好きであることが近道である。好きであれば技能を極めるために必要な努力を惜しまず、積極的に努力できる。ティアニー先生のカンファレンスが素晴らしいのは、本来ならばティアニー先生の技能がないと感じられない臨床診断の「愉しみ」を、参加者までもが感じられるからではなかろうか。医療のサイエ

ンスではなくアートの部分である。

そのカンファレンスでの学びを一般化し、心にとどまりやすくし、ティアニー先生のカンファレンスの特徴づけているのがクリニカル・パールである。エビデンスに基づく教科書的な記載と異なり、「ざっくり」とした切り口で、わかりやすい形でわれわれ臨床家の心に響いてくる。ティアニー先生のカンファレンスは1つのパール、多くて数個のパールに集約されることが多い。このようなパールは一朝一夕にできるものではなく、数多くの経験によって洗練され、磨かれ抜いて光輝く。年代物のワインやビンテージ・ジーンズのように年を重ねるほど上質となる。Less is more といわんがばかりに余計な記載がなく、1、2文であるがために鋭く心に響く。本書には厳選されたパールが144も収載されている。ティアニー先生のカンファレンスに144回も参加できるほど恵まれている医師はそうはいないだろう。ぜひ一読し、ティアニー先生のアートを144回疑似体験してほしい。

● A5／頁186／定価2,625円(本体2,500円＋税5%)
2012年10月 [ISBN978-4-260-01712-1] 医学書院刊